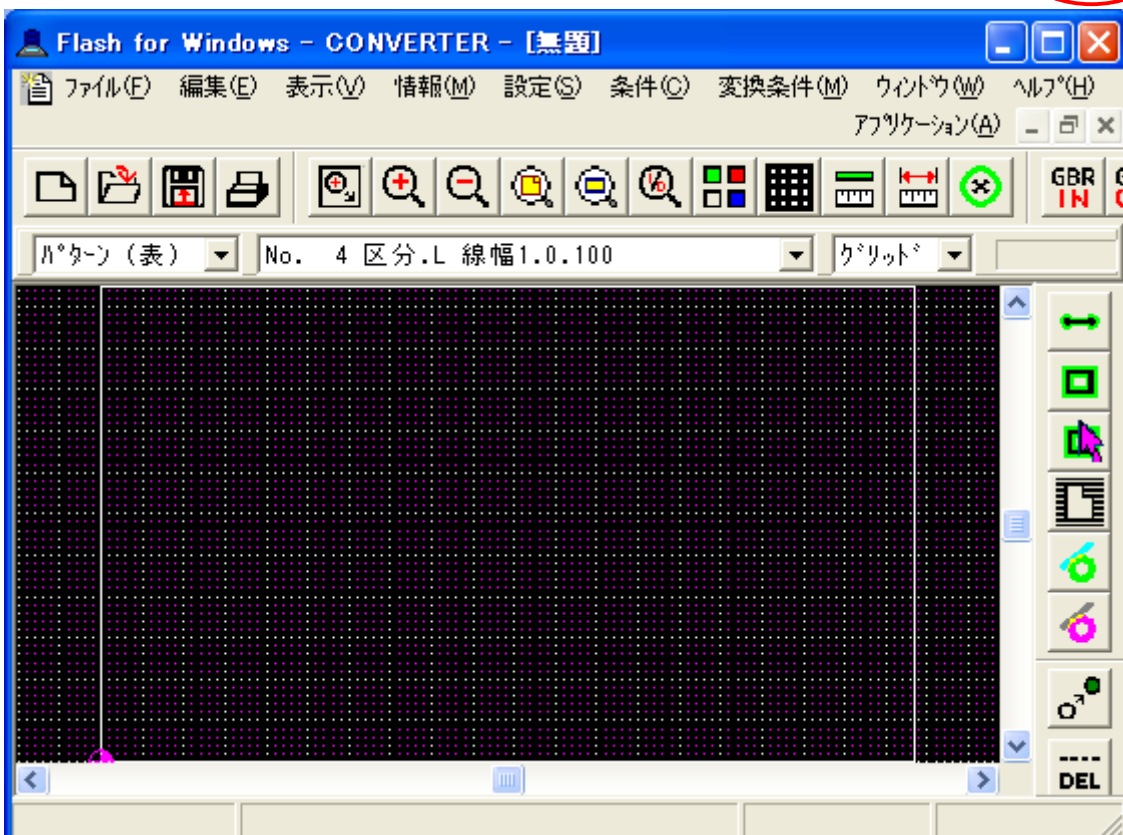


Flash for Windows による Gconpass 生成ガーバーデータの読み込み

1 . PasS より Gconpass を呼び出し、正常終了したのを確認します。

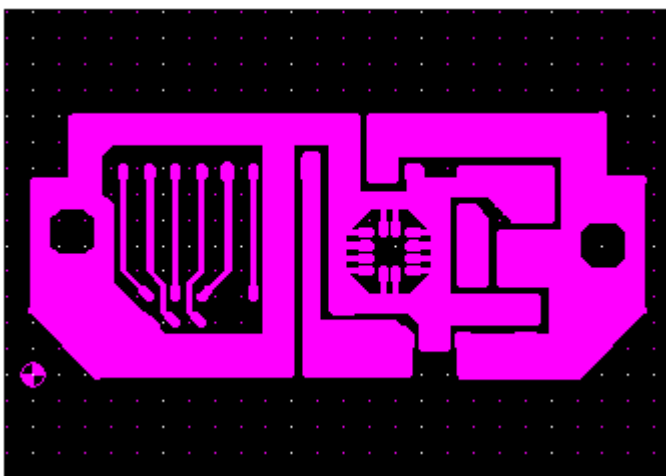
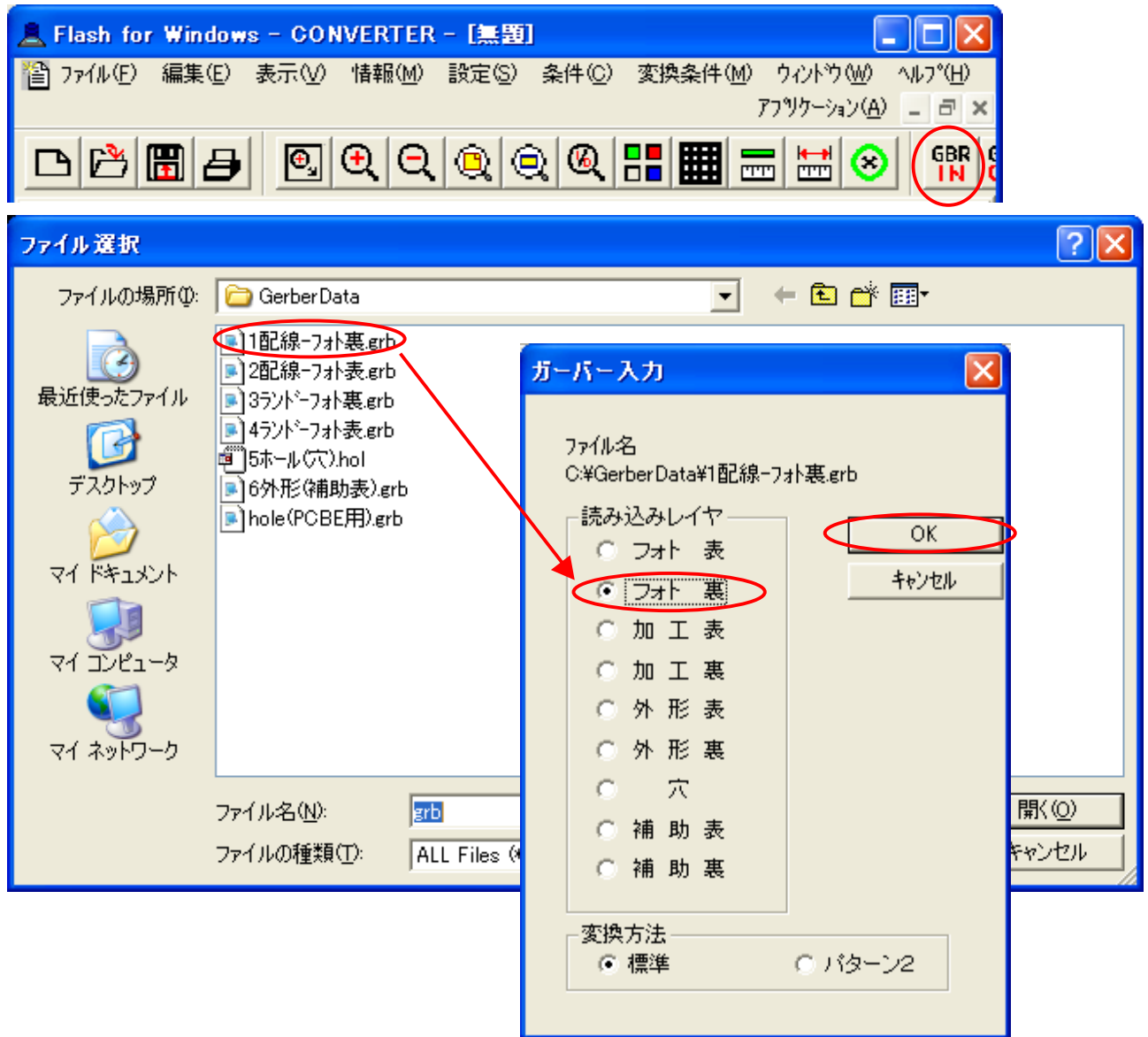


2 . Flash for Windows - CONVERTER を起動します。



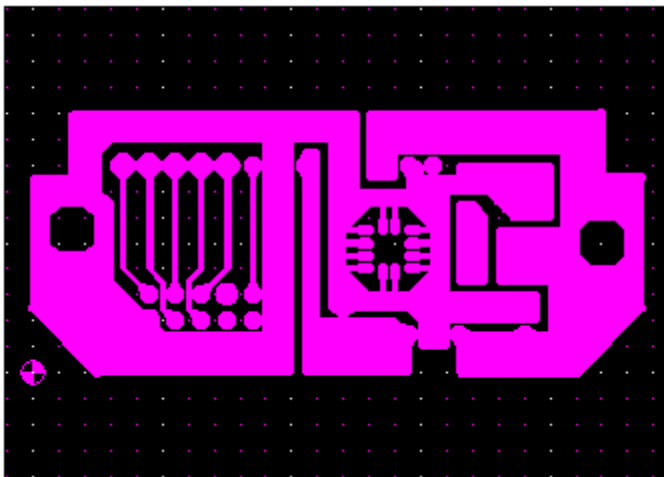
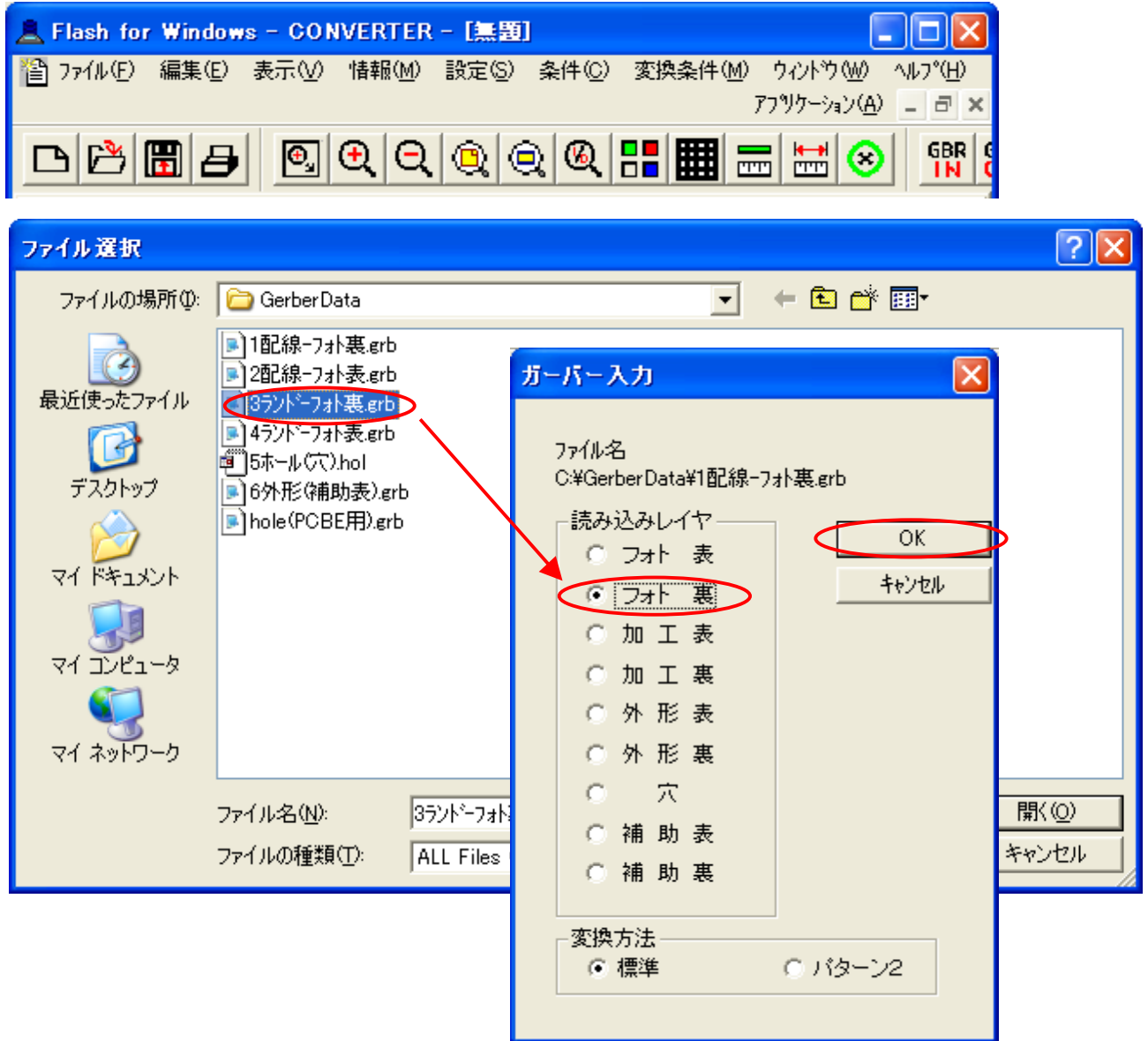
3 . PasS より Gconpass を呼び出し、正常終了後に CONVERTER のガーバー入力を実行します。
ここでは、片面基板を例に説明します。

(1) 裏面配線のガーバーデータを「フォト 裏」に読み込みます



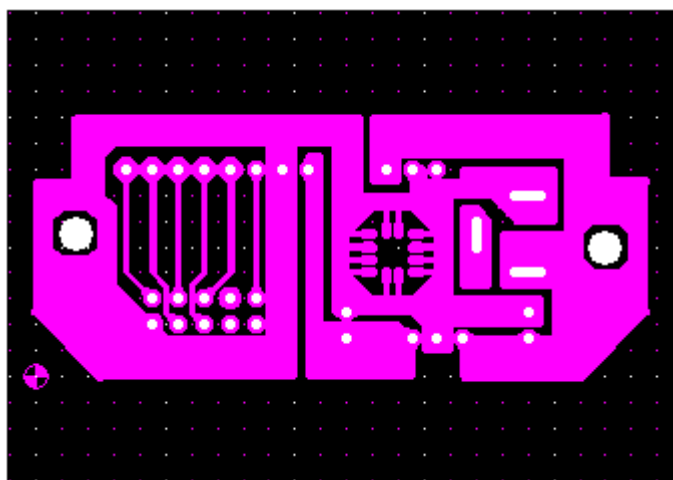
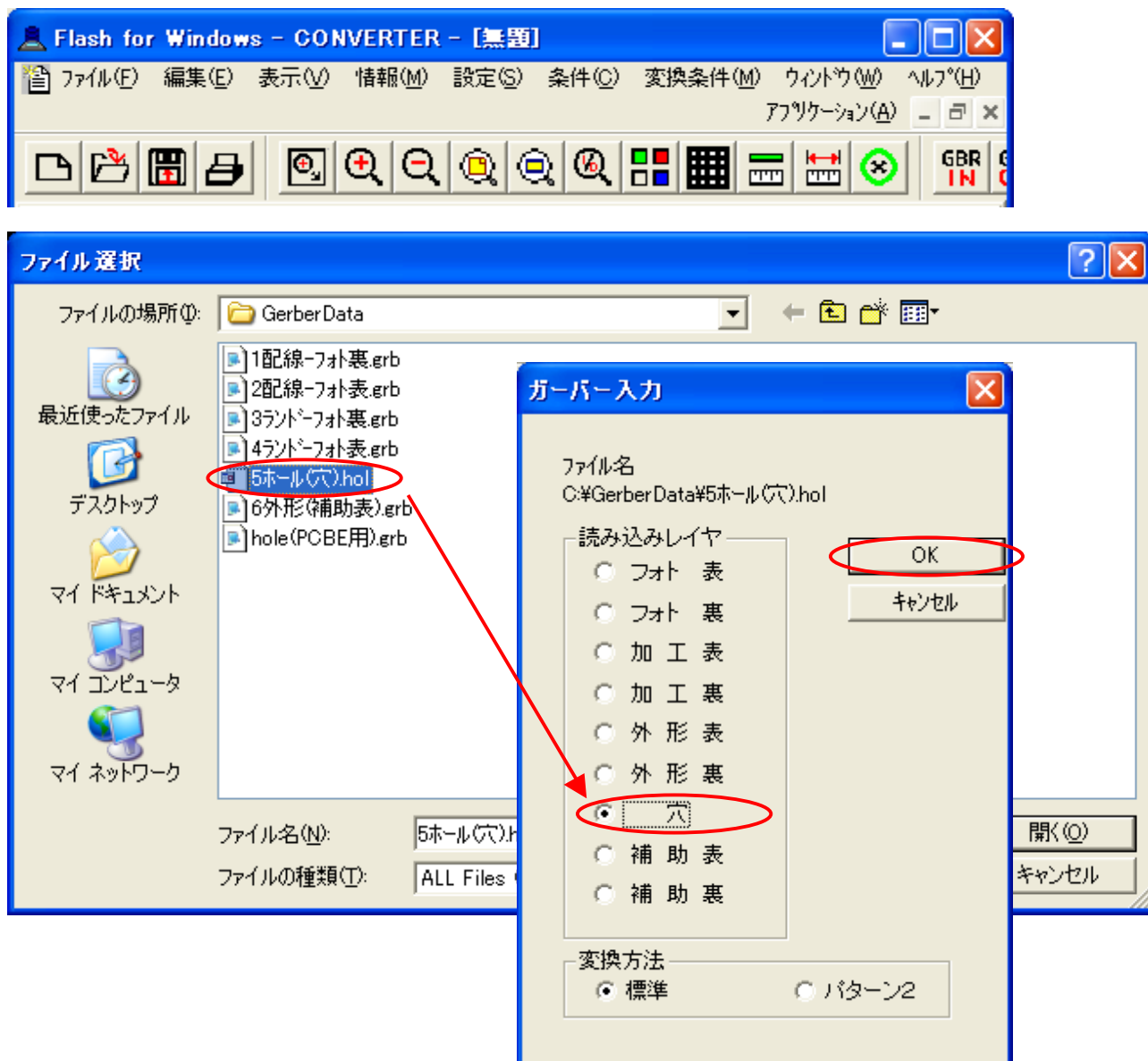
裏面配線パターンを読み込んだ状態

(2) 裏面ランドのガーバーデータを「フォト裏」に読み込みます



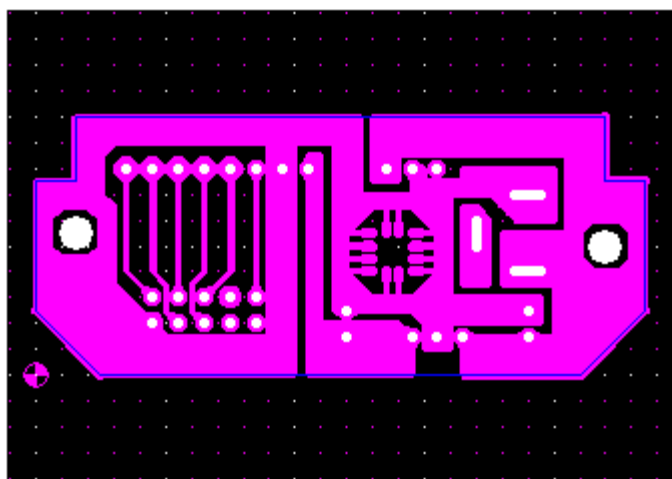
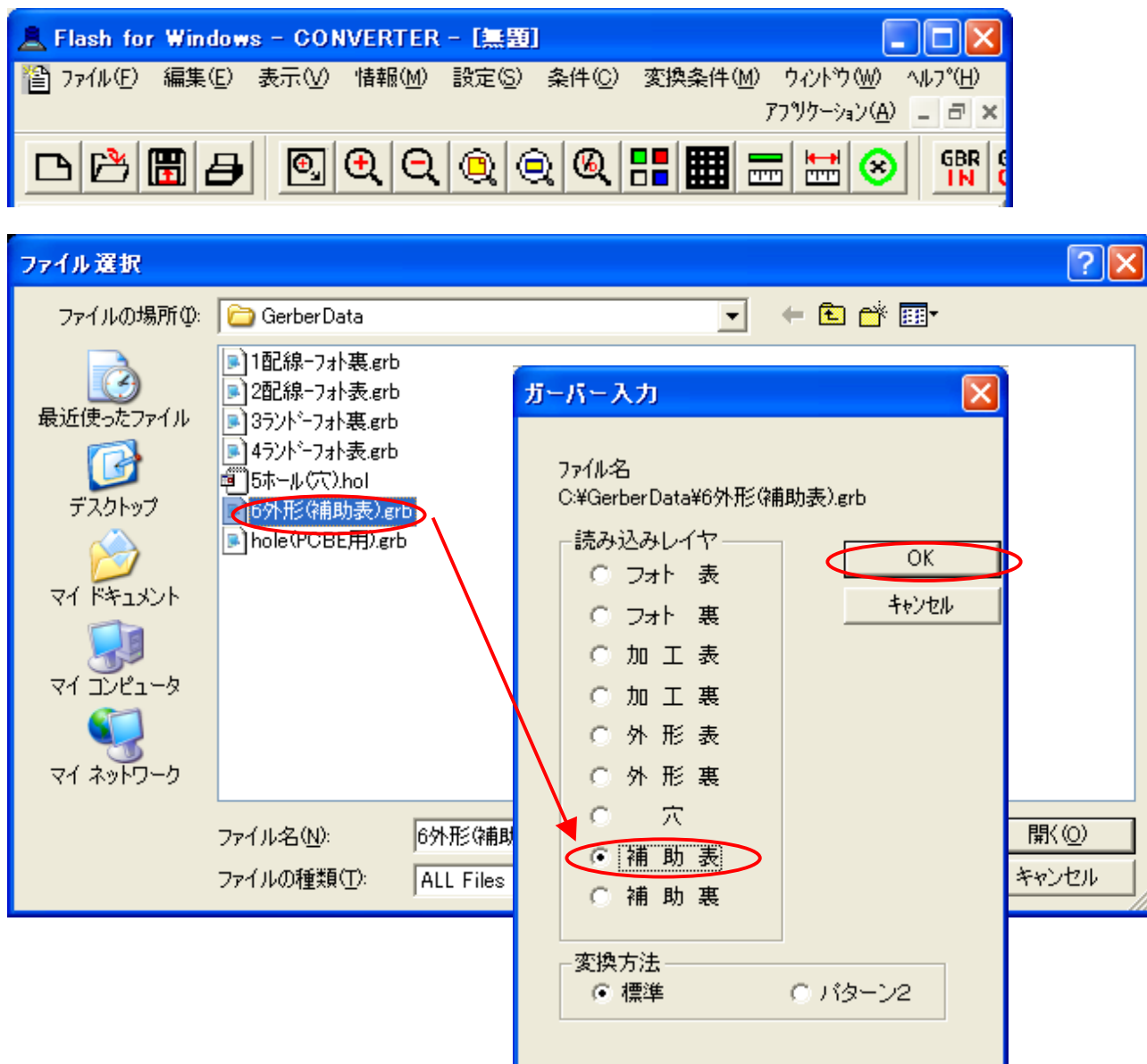
裏面ランドパターンを読み込んだ状態

(3) 穴のガーバーデータを「穴フォト 裏」に読み込みます



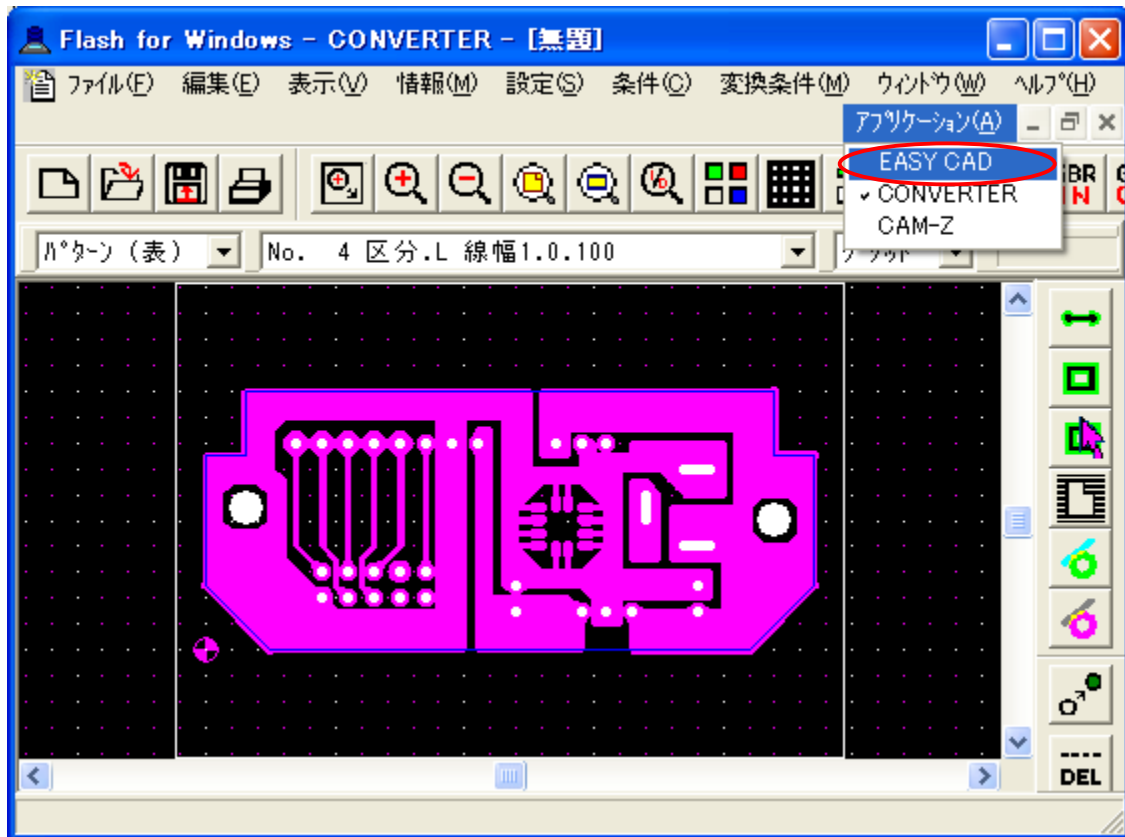
穴データを読み込んだ状態

(4) 外形のガーバーデータを「補助表」に読み込みます

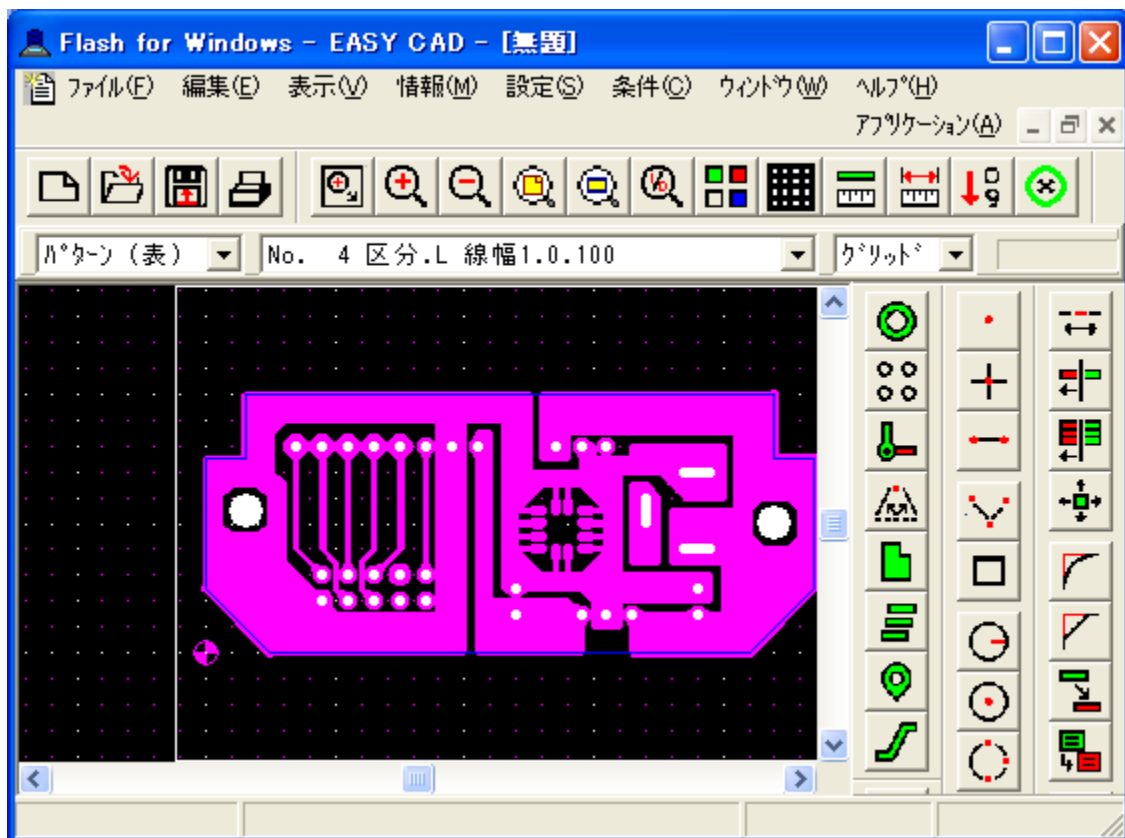


外形線を読み込んだ状態

4 . 処理を Flash for Windows EASY CAD に移行し、CAM-Z を動作させる前処理を行います。



EASY CAD 上で、「輪郭線の抽出」「外形加工設定」などの処理を行います。



5 . Flash for Windows CAM-Z に移行し、基板加工を行います。